

# 中学校第1学年 道徳科学習指導案

## 1 主題名「誠実な生き方」

(内容項目：A－1 自主、自立、自由と責任)

## 2 教材名「裏庭でのできごと」

(出典「中学道徳 あすを生きる1」 日本文教出版)

## 3 ねらい

自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもとうとする判断力を大切にする心情を育む。

## 4 主題設定の理由

### (1) ねらいとする価値

自ら考え、実行し、自分の行為の結果に責任をもつことが生きる上での基本的な態度である。一方で、周りの考えに同調してしまったり、責任を転嫁してしまったりすることがある。そういった弱さに流され、自らに誇りをもてない行為をすると、良心の呵責に悩まされたり、ひいては他者との関わりの中で信頼関係を築いていくことが困難になったりすることに気付かせたい。そこから、自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもとうとする判断力を大切にする心情を育てていきたい。

### (2) ねらいに関する児童の実態

- ・ やっていいこと、よくないことの正しい判断力を身に付けようとする生徒が多い。
- ・ 間違っていると知りながら、「ごまかせるかもしれない」と弱い心に逃げてしまうことがある。
- ・ 周囲の目を気にして他人の言動に左右され、自主的、自律的な言動を抑えてしまうことがある。
- ・ 自主的、自律的に判断して行動し、その結果に責任をもつことの大切さを知り、実践につなげようとする意識が芽生えてきている。

### (3) 教材について

本教材は、遊び仲間の健二、雄一、大輔の3人のやりとりを通して、誠実な生き方とは何かについて考えていくという話である。

また、「①健二が大輔から『俺を出し抜いて先生のところになんか行くなよ。』と言われたとき」「②健二が鏡に映った自分の姿を見たとき」「③健二が誤りに行こうと決めたとき」の心情の変化を捉えることで、逃げない心や自分の誇りを大切にした生き方について気づき、考えさせることができる教材である。

### (4) 価値の自覚を深める工夫

導入では、「誠実に生きる」についてイメージをもたせるため、身近な例を挙げて話を進める。

展開では、役割演技で、他の意見に流されてしまう弱い健二に自我関与させ、次に鏡(自分)との対話で、自分はどうすべきかについて気付いていく健二の心情の変化を捉えさせる。中心的な発問では、謝りに行く決心をした健二の行動と「誠実に生きることの清々しさ」を結び付け、改めて「誠実に生きる」ことや、これからの自分にどのようにつなげていくか考えさせ、ねらいに迫っていく。

終末で、自分事として他の生徒や教師の考えを聞き、自分と対比させながら、より高い価値へと引き上げるきっかけとしたい。

5 本時の展開

	<p>学習活動</p> <p>○主な発問 ◎中心的な発問 ・予想される児童の発言</p>	<p>・指導上の留意点</p> <p>■評価の観点</p>
<p>導入</p>	<p>1 本時の主題を捉える。</p> <p>○「誠実」とは何でしょう。「誠実な人」で思い浮かべるのは誰ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いつわりがない</li> <li>・まじめ</li> <li>・まごころがある</li> <li>・正直</li> <li>・公正</li> </ul> <p>(芸能人や身近な人でイメージのある人が挙がる)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>誠実に生きるために大切なことは何だろうか</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誠実に生きることの価値について考えをもたせる。</li> <li>・教材への意欲付け程度にとどめる。</li> <li>・つぶやきを拾う。</li> </ul>
<p>展開</p>	<p>2 教材「裏庭のでできごと」を読んで、話し合わせる。</p> <p>(1) 登場人物を確認し、概略をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「健二」「大輔」「雄一」</li> <li>・3人はサッカーをしようと、禁じられている裏庭に行った。</li> <li>①すぐに謝りに行った「雄一」</li> <li>②謝りに行かせたくない「大輔」</li> <li>③ずっと悩んでいる「健二」</li> </ul> <p>(2) 話し合わせる。</p> <p>○あなたは、誰の気持ちが一番理解できますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートに答える(3択)</li> <li>・その一人を選んだ理由を発表する</li> </ul> <p>○「そんなこと言ったって…」の「…」で健二は何と言おうとしたのでしょうか。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">役割演技</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大輔との対話で健二が言わなかった「…」に入る台詞を考える。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>健二「僕、先生に言いに行こうと思う。」</p> <p>大輔「いいよ、そんなこと。あの場で済んだことなんだから。」</p> <p>健二「そんなこと言ったって <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 1em; vertical-align: middle;"></span>。」</p> <p>大輔「(大輔役が問い返しになるような台詞を言う)」</p> <p>健二「 <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 150px; height: 1em; vertical-align: middle;"></span>。」</p> </div> <p>◎家に帰って鏡に映った自分の姿を眺めながら健二は何を考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健二との仲が悪くなる</li> <li>・先生に叱られる</li> <li>・逃げたままではなく、謝りに行った方がいい</li> <li>・正しいと思うことをやったらいいとら</li> <li>・正しい行動をした方がいい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物が価値に気づき、実践につなげようとする過程をたどらせる。</li> <li>・誠実な人、誠実な行動について考えさせる。</li> <li>・タブレットで提出</li> <li>・結果についてコメントする</li> <li>・正直に言うか言わないかの葛藤を抱えている心情を捉えさせる。</li> <li>・ノートにメモさせる。</li> </ul> <p>■自分との関わりで考えながら心情を理解しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えで、どうすべきかの決断をしようとする心の変容を捉えさせる。</li> <li>・チャットで入力させる。</li> </ul> <p>■自分はどうすべきか考えを深めている。</p>

	<p><b>3 教材文を通して気付いたことと、自分自身を照らし合わせて考える。</b></p> <p>○「誠実な生き方」とはどういう生き方ですか。これから自分の態度を決めなければならないとき、大切にしようと思うことを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを記入する</li> <li>・他の意見を聞く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材から離れ、身近な問題として考えさせる。</li> <li>・「誠実な生き方」をする上で大切なことは何か、考えを整理させる。</li> <li>・ノートに記入後、タブレットに入力させる。</li> <li>・考えを交流させる。</li> </ul>
<p>終 末</p>	<p><b>4 教師の話聞く。</b></p> <p>誠実な生き方とは、「正義感」「責任感」「自主性」をもって決断し、行動すること。</p>	